



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』
1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』
1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会 □卓話 イニシエーション スピーチ「最近の国際海運あれこれ」
10月17日／第531回例会 当クラブ会員 郵船ビルテック(株)取締役相談役 金光圭一君

◎先々週報告 □クラブ創立11周年記念例会
10月3日／第530回例会 □卓話「ガバナー公式訪問に際して」



ガバナー公式訪問

1997～98年度 RI 第2750地区ガバナー 岩井 敏氏

本日は貴クラブの11周年記念例会という良き日に伺い心から貴クラブのご発展を願うものです。又、クラブ協議会に出席し、「職業奉仕からみた一企業倫理の現状」というテーマは大変重要な課題で参加させて頂き身の引きしめる思いがしました。今後の公式訪問時に他クラブにも紹介したいと考えています。

私が日頃から感じていることは「ガバナー月信」に掲載されてますのでご一読下さい。

本日ご報告申し上げたいことは2つあります。まず第一はRI会長の方針とテーマを伝えることです。グレン・キンロスRI会長は本年度のテーマとして「ロータリーの心を」と掲げています。人間にとって最も大切なのは平和です。小は家庭から大は世界の平和を実現するのが理想です。その障害は世界の20%が極貧状態にある飢餓貧困です。このためには識字率の向上運動を展開し、人々に読み書き計算能力を向上させ飢餓貧困から救うのです。RIはこの問題に本年度の活動として取り組んでいます。ロータリーの力を活用すればこの大きな問題に取り組むことがで

きるのです。この目的に向かって各クラブは四大奉仕部門を通じそれぞれ活動して頂きたいと思ひます。

次に地区組織運営に関するリーダーシッププランについてです。これは昨年2月RIの理事会で承認され、推奨プランとして公開されたものです。現在ではロータリーの組織が大きくなり、ガバナーは守備範囲が広がりその職責を充分にはたし得なくなり、又RIは固定費が増大し、組織を維持することが大変となりました。そのために①ガバナーの職務を一部正式に委任するガバナー補佐を設ける。②公式訪問の性格づけを従来のものから変える。③ガバナー補佐は十分な研修を積む。という三つの柱を採用しました。

当地区ではガバナー補佐を分区代理にお願いし、昨年11月より2回勉強会を開催しています。又公式訪問は合同例会方式をとり、上半期には当地区全てのクラブを訪ねる予定です。尚クラブ協議会にガバナーが出席できない時はガバナー補佐が出席させて頂きます。

今後については、地区組織検討委員会を設け、地区にふさわしい組織と運営方法を検討し、リーダーシッププランの理解と推進を図りたいと考えています。(まとも 青野)

□会長報告

①本日は当クラブ創立11周年記念日です。この記念例会にガバナーの公式訪問を受け、早朝より岩井 敏地区ガバナー、本橋浩一干代田区代理を迎えて「懇談会」を、引き続き10:30より「第3回クラブ協議会」を開きました。なおクラブ協議会より勝屋俊夫干代田区分区幹事に、例会より三好徹地区副幹事にご出席頂きました。

②クラブ創立11周年記念日を祝し田辺初代会長の音頭により乾杯致しました。

③鶴岡RCの佐々木氏が来会し鶴岡RCとバナーを交換しました。

□社会奉仕委員会報告 (吉田委員長)

港区ボランティアセンター開設10周年記念イベントを支援することとなりました。事業は

- ①映画会 ③ウォーキング
- ②写真活動展示 ④交流パーティー

です。11月8日(土)に開催されます。多数参加して下さい。

□雑誌委員会報告 (川鍋委員長)

10月は米山・職業奉仕月間です。「ロータリーの友」10月号にはそれにちなんだ記事が掲載されています。

□慶事披露 ●お誕生日祝／松原秋夫君(10月6日)、渡部一元君(10月8日)、廣瀬哲久君(10月9日)、鍋島晴夫君・田中 武君(10月11日)、吉岡琢磨君(10月13日)、加藤昌明君(10月16日)

●100%出席／馬場一廣君・入沢頼二君・吉田用親君(11年)小杉真史君(2年)

□出席報告 ●会員73名／出席59名・欠席19名

来賓(4名 敬称略・順不同)岩井敏地区ガバナー(東京京浜)、三好徹地区副幹事(東京築地)、本橋浩一干代田区分区代理(東京中央)、勝屋俊夫干代田区分区幹事(東京中央) ビジター(6名 敬称略・順不同)／佐々木詰彦(鶴岡)、土井芳英(東京東)、吉澤審一(東京)、菅野谷純正(東京大森)、清水洋明(東京中央)、山口榮一(東京南)



10月3日 15件 45,000円
97～98年度累計 659,432円
多額の寄付を有難うございます。
(敬称略・順不同)

佐々木詰彦(鶴岡)／高橋良士鶴岡RC元会長との旧交のため山形より訪問しました。田辺賢三／岩井ガバナー公式訪問ご一行を歓迎して。沖 宏之／岩井ガバナー本日は公式訪問ありがとうございます。お体にお気をつけて頑張って下さい。武下 朗／ガバナー公式訪問ありがとうございます。荒木昭文／岩井ガバナー公式訪問有難うございます。保森 登／岩井ガバナーの公式訪問を歓迎して。山下忠治／岩井ガバナー本日の公式訪問を心よりお待ちしております。宮武保義／岩井ガバナー本日の公式訪問有難うございます。小杉修造／岩井ガバナーをお迎えして。小瀬雅亮／岩井ガバナー公式訪問有難うございます。横山秀明／クラブ協議会欠席しました。福島賢哉／先週は欠席しました。加藤昌明／メーキャップが続きました。伊部和夫／アンケートご協力有難う存じました。新保國彦／久しぶりのニコニコ担当です。

◎次週予告 □卓話予定 「現代文壇裏事情」

10月24日／第532回例会

(株)電通ソフト開発センター 文化事業部専任部長 藤原伊織氏

□ガバナー公式訪問 第3回クラブ協議会 **テーマ 職業奉仕からみた「企業倫理の現状」**

武下会長より来賓の紹介、挨拶のあと、渡部幹事の協議会の進め方についての説明に引き続いて、活発な討議が行われた。

(1)本日のテーマの主旨について **伊部職業奉仕委員長**
1900年代の始のシカゴはselfの時代で自分さえよければとのエゴイズムが横行していた。これを共存共栄のFellowshipの時代へ変えようと1905年RCが創立されたと聞いている。

しかしロータリー活動が続いているうちにFellowshipだけでは不十分でService(奉仕)の必要性が認識されるようになった。

4大奉仕の定義制定に先立ち、1915年道徳律が採択されていることから見ても、RCの原点は“個人が自らの職業を通じて社会に奉仕する”ことでありその根底には企業倫理があると考えている。しかし時代の推移につれ、結果を形として表すことのむづかしい職業奉仕の影がうすくなり、結果の出易い社会奉仕、国際奉仕が目立つ傾向となって来たことは反省すべきと思う。

当クラブは1992年、1993年、1995年のクラブフォーラム、及び1996年のガバナー公式訪問時のクラブ協議会で、何れも職業奉仕(企業倫理)をテーマとし、バイブルとも言うべきロータリーの綱領、四つのテスト、職業宣言への理解を深め、企業倫理の確立へ努力して来た。たまたま先週の9月26日には、日本経営倫理学会 水谷会長より「我が国における経営倫理の実践について」と題する卓話をして載き、倫理の具体的側面についてのお話をうかがった。

最近頻発する一流企業による不祥事件には首をかたむけざるを得ないが、企業倫理再認識の必要性を痛感している。その為には企業倫理の現状把握が肝要で、又これが将来への展望に繋がると考える。

新しい試みとして当クラブ会員を対象に企業倫理に関するアンケートを実施した。60%以上の回答を戴き、ご協力に対しこの機会をかり厚く御礼申し上げます。この結果については後程佐々木職業奉仕委員長よりご説明申し上げますが、その前に、実証研究では日本より20年進んでいると云われる米国と日本の比較について、宮本職業奉仕副委員長よりご説明し意見交換に入りたいと考えております。可能な限り時間をとりましたので、皆様の日頃のお考え等を自由に発言戴き、本クラブ協議会を更り多いものと思いたいと思いますのでよろしくお願い致します。

(2)米国と日本における企業倫理に関する意識・動向比較 **宮本職業奉仕副委員長**

麗澤大学のデータに基づく実態は下記の通りである。

1. 業界の反倫理的慣行の有無
 全くない (米) 44% (日) 32%
 少しある (米) 47% (日) 46%
 かなりある (米) 3% (日) 6%
 分からない (米) 6% (日) 16%
2. もっとも好ましくない業界の慣行
 1位 (米) 不公正な価格付け (日) 談合、不公正な価格付け
 2位 (米) リベート/賄賂 (日) 不公正な従業員の取り扱い
 3位 (米) 顧客の不公平な取扱い (日) リベート/賄賂
3. 管理者の倫理的意思決定に影響を及ぼす要因
 1位 (米) 自分の良心 (日) 会社の方針・社風
 2位 (米) 上司の行動・考え方 (日) 自分の良心
 3位 (米) 会社の方針・社風 (日) 上司の行動・考え方
4. 企業倫理確立に向けての努力の有無
 行っている (米) 93% (日) 61%
 行っていない (米) 5% (日) 39%
 行う予定 (米) 2% (日) 0%
5. 企業倫理確立に向けての努力の内容
 1位 (米) ガイドライン制定 (日) 経営理念に盛り込む
 2位 (米) 教育 (日) 反倫理行為に対するペナルティ制度
 3位 (米) 倫理委員会設置/倫理監査 (日) 倫理規範の制定

(3)当クラブの企業倫理に関する意識と動向 **<アンケートに基づいて> 佐々木職業奉仕委員長**

当クラブ会員の企業と日本の一般企業の「企業管理に関する意識と動向」についてのアンケート調査を9月に行ったが、その結果を要約する。

質問1 (企業倫理の確立についての考え方)
企業倫理の確立は、必要不可欠と考えている企業は当クラブでは

と き 97年10月3日(金) 10:30~12:10
 と ち ろ 全日空ホテル B1 青雲の間
 出 席 者 来賓/岩井ガバナー、本橋千代田分区代理、勝屋千代田分区幹事
 会 員 37名

87%、一般企業で86%〔以下(87,86)と表記する〕と、両者共企業倫理の必要性を感じていない企業は極めて少ないことが分かる。

質問2 (企業倫理の確立に向けての取組姿勢)

質問1で明らかな様に、殆どの企業で企業倫理の確立の必要性を感じているにもかかわらず、具体的に仕組を講じている企業は(9,13)にすぎず、既存の経営システムの範囲内で取組んでいるか、個々の従業員の良識に任せている企業が(91,87)と圧倒的に多く、意識と制度化に大きな乖離があるのが分かる。

質問3 (企業倫理の確立に向けての具体的制度施策)

質問2の結果をよく反映して、既存の経営システムの範囲内で企業倫理の問題を取扱おうとしている傾向が強いことがわかる。即ち「社員の良識」「就業規則」「社是社訓」「経営者の言及」等に頼っているのが過半数を占め、具体的な「企業倫理規範の制定」「社外取締役及監査役導入」等の制度は少ない。具体的制度、施策の面で、当クラブは一般企業と比べ多少数字の上では小さいが、これは当クラブの場合企業規模が小さいか、小人数の専門職事務所がかなり含まれていることにもよると思われる。それ等の事情を差引いても「企業倫理のマニュアル化」「環境保護問題を扱う機構、メセナ活動」等にはかなりの差があり今後の課題であろう。しかし企業倫理についての社員への徹底等は当クラブが一般企業をリードしている。

質問4 (企業倫理の確立に向けての努力の成果)

「どちらとも言えない(44,46)」が最も多い。これは成果を判断するには時期尚早か。評価方法が欠如しているのか又はその意識すら欠けているのか等、種々な理由が考えられるが「どちらかといえば満足(36,36)」が「どちらかといえば不満足(9,12)」よりも多く、総じて倫理面では大きな問題を感じている企業は一般企業も含めてそれ程多くなさそうである。

質問5 (倫理的に尊敬する企業)

日本IBM、京セラ、ソニー、スリーエム

(4)意見交換 (司会) 宮本職業奉仕副委員長

小杉(真) 会員から、富士通グループにおける企業倫理の確立に向けての取り組みが紹介された。IBMをモデルに20年前に制定しており、経営者はもちろん社員個人の規範として、企業行動指針を厳格に規定し、服務規程を制定していると説明された。開発会員からは、富士ゼロックスおよびゼロックスにおける例をもとに、日本の企業倫理に対する意識の差異や、文化や風土、法制上の違いによって生じる種々の問題について具体的に紹介された。ガイドラインなどが制定されたとしても、それを如何に実行するかが大事であり、かつ難しいかが指摘された。

高須会員からは、自社の周年を機に企業理念を制定した事例が説明された。建築業界が若い人にとっても魅力ある職場であり、仕事に誇りを持ち、使命感をもって努力できることが倫理観の向上には欠かせないと考え、全社をあげて制定に努力したことを話された。

宮武会員からは、米国における大学や職場での企業倫理の教育訓練を良い例として、次世代を担う青少年に対する企業倫理の教育をロータリアンの職業奉仕としてとらえていく必要があるのではないかとコメントされた。

田辺会員からは、住友スリーエム時代の体験例が話された上で、以下の問い掛けがなされた。個人の職業倫理がそのまま企業の中では実を結ばないことが多く、企業倫理の確立が必要だというのが昨年のIMでの結論であったが、この結論に至るにはなお論理的な考察が必要なのではないか。

最後に、武下会長より協議会の内容まとめがあり、岩井ガバナーからは、ロッキード・グラマン事件を例に、職業倫理が個人の精神的な問題であると同時に、社会制度を含む諸体制の整備も必要であるとの貴重なコメントを頂いて、協議会を終了した。(まとめ 村山)

東京新南ロータリークラブ

会長：武下 朗 副会長：山下忠治 幹事：渡部一元
 〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
 TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004
 例会日●毎週金曜日 12時30分
 例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
 青野 信次、宮川 弘信、開発 秀基、
 田中 武、小杉 真史、川鍋 二郎、
 立林 英昭、吉田 用親、村山 公士
 (編集担当順)